

2025 年度

授業概要

科目名		リハビリテーション概論			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
リハビリテーションとは医学的、職業的、教育的ならびに社会領域にまたがる広範な概念である。本授業ではこれらの領域における各々の歴史や役割などについて理解を深める。また人口の高齢化、疾病構造の変化、医療需要の増大により、その重要性は年々増しており、医療だけでなく、保健・福祉領域における在宅介護などにおいてもその必要性は増々高まっている。さらに多様化、複雑化する医療や福祉領域の他職種の業務内容についても理解を深め、チーム医療の一員としての役割と責任について学修する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
リハビリテーションに関わる職種である作業療法士として、保健医療福祉分野で活躍するためにリハビリテーションの理念や分類について学修する。障害の概念、障害の捉え方、障がい者の心理的側面について理解を深め、障がい者や患者様の障害・生活機能について学修する。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「リハビリテーションとは何か？」を理解するために歴史や理念について説明することができる。 2. 障害の概念、障害の捉え方、障がい者の心理的側面など理解を深め、自分の言葉で説明することができる。 3. リハビリテーションにおける作業療法士の役割について復習し、より理解を深めることができる。 4. ノーマライゼーションの理念、IL運動、我が国の障害者施策を理解することができる。 5. 障がい者の自立生活に役立つ法制度の基本を理解し、そこから導かれる作業療法士の役割について説明ができる。 								
回数	講義内容（順不動）							
1	リハビリテーションとは？定義と歴史							
2	障害のとらえ方、障害受容の過程							
3	ICFについて							
4	ICFについて							
5	リハビリテーション専門職、社会保障制度について							
6	障がいのある方の社会生活を支援する制度を調べる							
7	障がい者体験							
8	リハビリテーション工学							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【参考図書】

書籍名	著者名	出版社
地域リハビリテーションと私	澤村誠志	CBR

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
